

事務事業名		民生児童委員協議会総務管理事業		所属部	健康福祉部	所属課	健康福祉総務課			
総合計画的体系	政策名	(Ⅲ)支えあい健やかに暮らせるまち《保健・医療・福祉》		所属G	総務G	課長名	糸原 幸子			
	施策名	(25)地域福祉の充実		担当者名	周藤 寛雅	電話番号	0854-40-1041 (内線) 2231			
	目的対象	市民	意図	地域で支えあう意識を高め、福祉活動を実施する。						
	基本事業名	(075)支え合う地域づくり		予算科目	会計	款	大事業	大事業名		
目的対象	市民	意図	地域で支え合う体制をつくる。				中事業	民生児童委員協議会事業		
					目	中事業	民生児童委員協議会総務管理事業			
					0	5	0	5	0	1

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間	
<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
<ul style="list-style-type: none"> 民生委員・児童委員に年4回に分けて報償費を支払う。 3年に1度、委員の一斉改選に伴い、感謝状・委嘱状伝達式を行う。 地域福祉推進に向け、民生委員・児童委員と関連する事項について相談、協議、支援を行う。 	

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動				
	30年度実績(30年度に行った主な活動)	元年度計画(元年度に計画する主な活動)			
	<ul style="list-style-type: none"> 報償費支払事務 地域福祉推進に向けた相談・協議 次年度改選に係る定数・区域等協議 	<ul style="list-style-type: none"> 報償費支払事務 地域福祉推進に向けた相談・協議 一斉改選事務 感謝状伝達式、委嘱状伝達式 研修会開催 			
	② 活動指標				
	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
ア	民生委員・児童委員に対する報償費	千円	8,326	8,450	8,450
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)						
	民生委員・児童委員													
	ア								民生委員・児童委員	人	142	142	142	142
	イ													
ウ														
② 意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)						
民生委員・児童委員の活動を活発化させることで地域の福祉問題の解決を図る														
ア		民生委員・児童委員が受けた相談件数+活動件数	件						19,461	19,250	18,608	18,608		
イ														
ウ														

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (30年度決算)		② コストの推移		単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(計画)
報償費:8,450千円		事業費	国庫支出金	千円				
			県支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円	8,536	8,450	8,450	8,672
		事業費計(A)	千円	8,536	8,450	8,450	8,672	
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2			
	延べ業務時間	時間	50	50	50			
	人件費計(B)	千円	198	204	217			
トータルコスト(A)+(B)		千円	8,734	8,654	8,667			

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
合併前:民生委員153人、主任児童委員12人 H16.12.1~;民生委員127人、主任児童委員13人 H19.12.1~;民生委員126人、主任児童委員16人 近年、相談の内容は、虐待、ひきこもりなど複雑多岐にわたり、負担感が大きくなっている。	民生委員・児童委員の業務負担軽減を図るため、関係機関の連絡先一覧や、申立書・意見書等の記載例を作成、配布した。また、地域一体となって民生児童委員が支えられるよう、その推薦に関して全ての地域自主組織が準備委員会に参画することとなった。	民生委員・児童委員の業務負担の軽減を求められている。また、民生委員・児童委員になっていただける方がおらず、改選にあたっては苦慮しているとの意見が寄せられている。委員を選出する側でも委員の業務内容について理解した上で適格な方を選出いただくよう求められている。

事務事業名	民生児童委員協議会総務管理事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康福祉総務課
-------	-----------------	-----	-------	-----	---------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合 →	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由	民生委員・児童委員の活動は現在充分になされているが、相談内容が複雑多岐にわたり、負担感を覚えている方もいる。地域の支えがある中で活動ができる環境をつくることで、成果はさらに向上すると考える。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
	<input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由	民生委員・児童委員は法律に基づく制度である。報償費は民生委員・児童委員の日々の活動に対する費用弁償であり、廃止は活動の停滞を招くためできない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 → <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由	法律に基づく制度である。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	事業費の減は民生児童委員の減員を意味する。住民からの相談は複雑多岐にわたり、民生児童委員の減員は相談したい住民が不利益を被ることになるためできない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	今後、民生委員・児童委員が地域の支えがある中で活動ができる環境を整えていく必要があり、民生委員・児童委員あるいは地域との協議等により業務量は増える。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由	民生委員・児童委員の活動により、地域の福祉が向上されるため、受益は全市に及ぶ。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市民からの相談内容も複雑多様化する中、民生委員・児童委員は鋭意対応していただいている。一方で、負担を感じている民生児童委員もいるため、改善していくことが、委員の確保や住民が相談しやすい環境をつくるうえでも必要である。	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		●																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
民生委員・児童委員が地域の支えがある中で活動できる環境を整える。																								